

今治市新産業創出支援助成事業

(知的財産権取得事業助成金)

—2019 年度—

【第 一 次 募 集】 《 記 入 例 》

(別紙2-3) 事業計画説明書

(別紙3-4) 助成事業の経費明細

(別紙2-3) 知的財産権取得事業助成金の場合

事業計画説明書

事業実施責任者(役職) _____ (氏名) _____

1. 事業計画の概略

(1) 助成金の種類

知的財産権取得事業助成金

(2) 事業テーマ名

「〇〇〇〇の〇〇方法」の国内特許出願

(3) 助成事業実施期間

助成事業開始日: 平成30年3月1日
助成事業完了日: 平成31年2月28日

(4) 助成事業の主たる実施場所(事業所の所在地)

今治市〇〇町〇丁目〇〇番〇号

(5) 助成対象事業について

出願の内容 (新規性・独創性を 含めて記述)	<div style="border: 2px dashed red; padding: 10px; color: red;">出願内容(新規性・独創性を含めて)や、目的・効果を簡潔に、数行程度に まとめてください。(新商品・新技術の全体像がわかるように)</div>
------------------------------	--

(6) 資金調達

経費区分	金額	備考
助成金 ※ 1	200,000 円	
自己負担額	380,000 円	
合計	580,000 円	

※1. 助成金交付希望額と一致

※事業計画説明書「1. 事業計画の概略(1)～(6)」で、最大A4用紙1枚以内

2. 事業の達成目標及び実施方法

(1) 現在までの事業の進捗状況

--

過去から事業計画書提出時点までの、本事業への取り組み、準備状況について記述してください。

(2) 周辺特許等

(既に取得済み、または同時取得及び今後取得予定の周辺特許等)

周辺特許	出願及び取得(予定)時期	周辺特許	出願及び取得(予定)時期
〇〇〇の製造特許			
〇〇〇の製造特許			

(3) 事業化達成目標

(事業実施期間終了後、事業化達成までの目標)

<p>[具体的な事業化目標] ※市場性、将来性を含めて記述 : 目標とする達成時期 ※※※※年×月</p>	<p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">・事業化達成目標について、本助成事業の位置付けや効果を含め、可能な限り数値等を用いて具体的に説明してください。 (商品等の性能・品質などの技術的達成数値や、売上金額、個数、販売・契約者数などの事業の進捗目標)</p>
---	---

(4) 事業化達成による地域への貢献

--

・事業化達成により、地域社会の発展に寄与する事業であることを説明してください。

(別紙3-4) 知的財産権取得事業助成金の場合

助成事業の経費明細

費目	内訳 (実施内容・目的、積算明細)	金額(千円)		
		総経費 (税込)	助成対象経費 (税抜き)	助成希望額
知財取得に係る 経費	弁理士手数料 〇〇〇円	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇
	特許出願審査請求料 〇〇〇円 (注) 減免措置を受け る場合には、それを 除した額を記載のこ と。	〇〇〇	〇〇〇	
	知財取得に係る職員旅費 〇〇〇円	〇〇〇	0(対象外)	
その他経費				
合 計		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	
助成金交付希望額 (千円未満切捨て)		助成対象経費合計の1/2 以内 但し、上限200 千円		〇〇〇〇 上限 200 千円

・総経費欄以左には税込み額で記載。

・助成対象経費欄には総経費欄の内対象経費を税抜きの額で記載。

・総経費の合計額は、(6)資金調達の合計の額と同額を記載します。(この場合の総事業費は、助成対象経費以外の経費も含め、想定される全ての費用を含むものと考えます。)